

10月は3R推進・食品ロス削減月間

目指せ食品ロス0

食品ロスとは、食べ残し、売れ残り、期限が近いなどさまざまな理由で、まだ食べられる食品が捨てられていることです。食品ロスを含めた多くのごみを燃やすことによる二酸化炭素の排出量増加などが問題になっています。

私たち一人ひとりが食べ物を無駄なく、大切に扱うことが、これらの問題の解決につながります。積極的に取り組み、食品ロス0を目指しましょう。

☎712-6301清掃事業課

年間東京ドーム約3.8杯分捨てられています

日本の食品ロスは年間472万tです(下記円グラフ参照)。

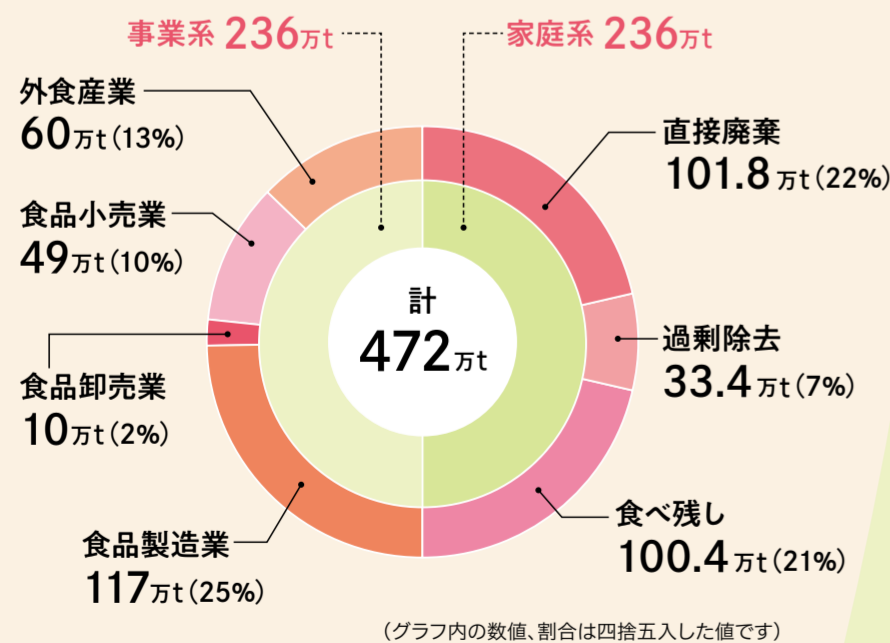
国民全員で年間東京ドーム約3.8杯分の食品が捨てられていることになります。

食品ロスは、食品製造業、スーパーやレストランなどの事業活動に伴うものや、家庭内での食べ残し、買いすぎや賞味期限切れによる廃棄など、さまざまな場面で発生しています。



東京ドーム(容積124万㎡)(1㎡=1tとして計算しています)

令和4年度食品ロス推計値



直接廃棄…未開封の食品がそのまま捨てられている

過剰除去…野菜の皮のむきすぎなど、食べられる部分が捨てられている

食べ残し…作りすぎによって残された料理が捨てられている

外食産業…レストランの食べ残しなどが捨てられている

\\ 小さなことからコツコツと //

今日からできるコツ

1 残さず完食

- ☑ 苦手な食べ物を工夫して、残さず食べる
- ☑ 料理は食べきれぬ分だけ盛り付ける
- ☑ 料理を作ってくれた人や食材に感謝の気持ちをもって食べる



2 買い物時の工夫

- ☑ 事前に冷蔵庫の中身をチェック
- ☑ 買い物リストの作成
- ☑ 賞味期限や消費期限をチェック

賞味期限: おいしく食べられる期間の目安。すぐに食べられなくなるとは限りません。
消費期限: 安全に食べられる期間の目安。期限内に食べましょう。

☑ 「てまえどり」の心掛け

「てまえどり」とは

購入してすぐ食べる場合に、商品棚の手前にある商品など、賞味期限が近づいた商品を積極的に選ぶ行動をいいます。



3 調理時の工夫

- ☑ 食品は適切に保存
- ☑ 食べきれぬ量を作る
- ☑ 食材を上手に使う
- ☑ 食べきれない料理は保存容器に移す



◀食品の適切な保存方法ははこちら

4 外食時の取り組み

- ☑ 食べきれぬ量を注文
- ☑ 食事会では「3010運動」

「3010運動」とは

乾杯後の30分は席を立たずに料理を楽しみ、お開きの10分前からは席に戻って再度料理を楽しんで、食べ残しをしないようにする運動です。



- ☑ 持ち帰りができるか聞いてみる

取り組むと良いことがたくさん

買いすぎないから家計にやさしい

令和4年度食品ロス量(左下円グラフ)をもとにした推計によれば、食品ロスによる経済損失の合計は4兆円、国民一人当たり32,125円/年となります。買いすぎないことで、4人家族の場合年間128,500円節約できることになります。



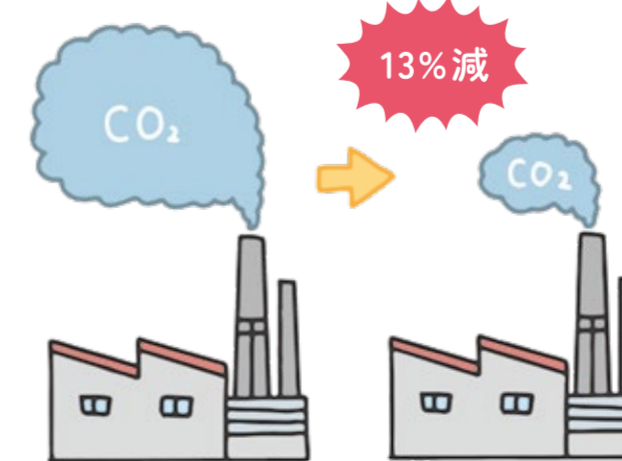
使いきり、食べきるからごみが減る

家庭からの食品ロスは「燃やすごみ」として処理されます。令和4年度に実施した全国調査では、燃やすごみの約27%を「生ごみ」が占めていました。また、国民1人1日103gの食品ロスをしており、1世帯(2.01人)当たり1カ月で約6kg捨てていることになります。少しでも食品ロスを減らし、ごみの減量につなげましょう。



ごみを燃やす時のCO2排出量が減る

食品ロスを国民1人あたり8%減らすと、冷房の設定温度を27℃から28℃に変更すると同等のCO2削減効果があります。



もっとできること

●フードドライブに寄付しよう

フードドライブとは、家庭で余った未開封・手つかずで、賞味期限が一定期間以上残っている食品を、地域の福祉団体やフードバンクに寄付する活動のことです。

本市では、市民の協力で集められたレトルト食品やお菓子、缶詰などの食品が、市川市社会福祉協議会を通じて子ども食堂や支援が必要な方に提供されています。

【寄付できる食品の条件】

- ①賞味期限が明記され、かつ賞味期限まで2カ月以上残っているもの
- ②常温で保存が可能なもの
- ③未開封であるもの
- ④米は前年度産まで
- ⑤アルコール類、冷凍食品以外

【寄付できる場所】

- 市内9店舗ファミリーマート
- いちかわフードバンク(市川市社会福祉協議会(東大和田1-2-10)、行徳ボランティアセンター(末広1-1-31))

【開催イベント】

- 環境フェア
- ☑10月20日(日)午前10時~午後3時30分
- ☑ニッケコルトンプラザ(鬼高1-1-1) 清掃事業課ブース

市民まつり

- ☑11月2日(土)午前10時~午後4時
- ☑大洲防災公園 清掃事業課ブース
- 食品ロス削減月間 10月1日~31日(木)
- ☑クリーンセンター(清掃事業課)、☑総合環境課
- 土、日、祝日を除く



▲詳しくはこちら



▲寄付された食品

▲昨年イベントの様子

●パネル展を実施します

10月は3R推進・食品ロス削減月間です。従来のごみ減量のキーワード「3R」Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)に Refuse(リフューズ)、Repair(リペア)の2つの「R」が加わった「5R」について「食品ロス」の理解を深めるためのパネル展を実施します。

- ☑10月16日(水)正午まで
- ☑メディアパーク市川 水の広場前



▲昨年の様子

●生ごみ堆肥化容器などの購入費を補助しています

家庭から出る生ごみの減量・資源化を促進するため、ミニ・キエーロやコンポスト容器を購入される方を対象に、購入費の一部を補助しています。使用方法や補助の内容など、詳しくは右記2次元コードで確認してください。



ミニ・キエーロ(生ごみ減容化容器)
土中の微生物を利用して、生ごみの容量を減少させる容器。手間があまりかからず、正しい使用方法で取り組めば、虫やにおいが発生しにくい。

コンポスト(生ごみ堆肥化容器)

土中の微生物を利用して生ごみの容量を減少させ、堆肥化させる容器。屋内用と屋外用がある。

